

ストーリー付きピンチヒロイン3DCG集

銀の戦士シアン



R-18G



ざこきやら堂

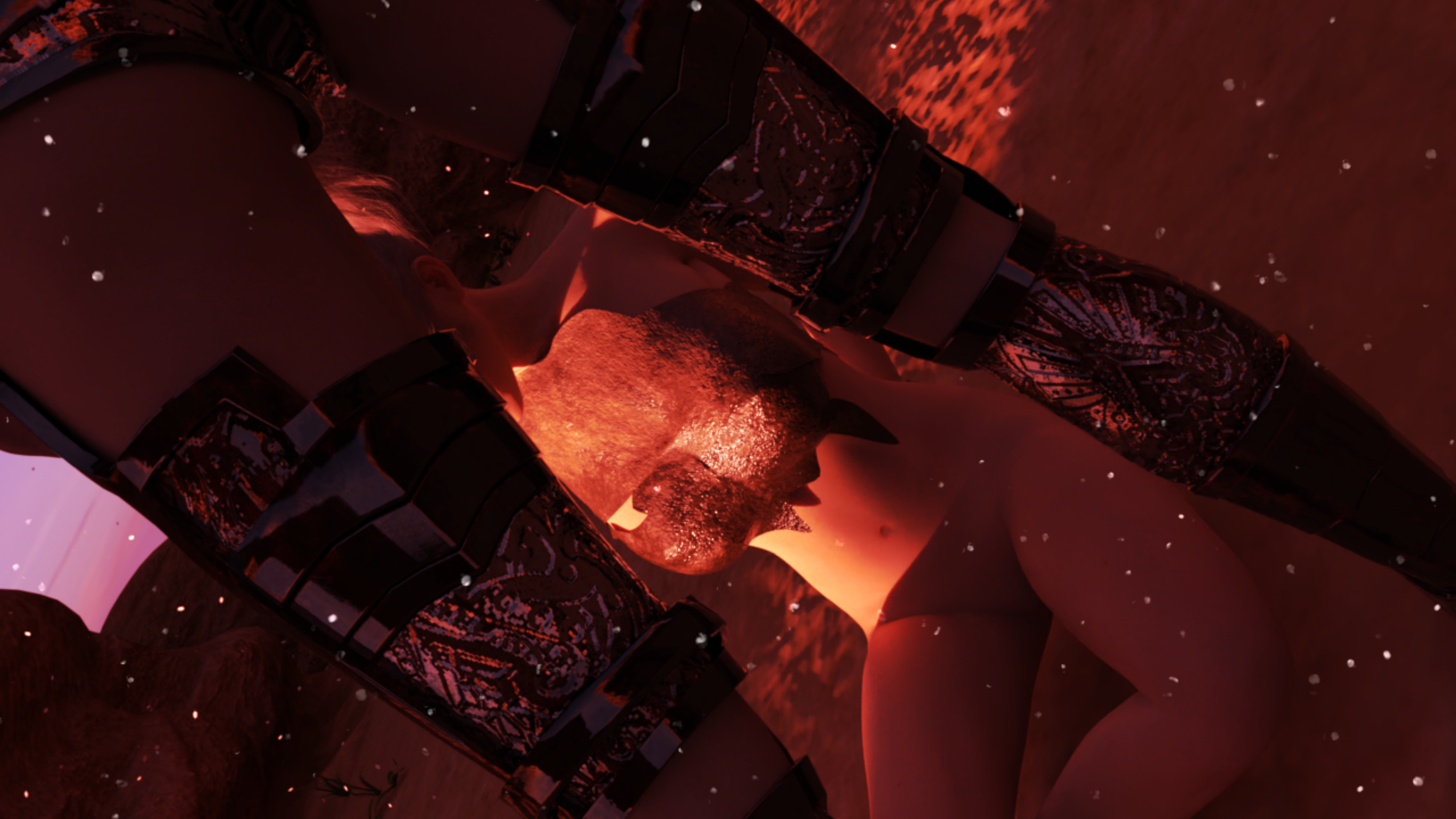
プロローグ



領主の娘は、悪党達に誘拐され、長い金の髪は、領主に届けられた
領主は、『身代金を出し、悪に屈すること』を拒否し、『娘を救出した
勇敢な者に賞金を出す』ことを選んだ



金をあきらめた悪党達は、逃亡前に、凌辱後、殺す気であった
悪党達は、最初は、怯え……その後、嗤った
この賞金稼ぎの『女』には、仲間はいない、一人だと



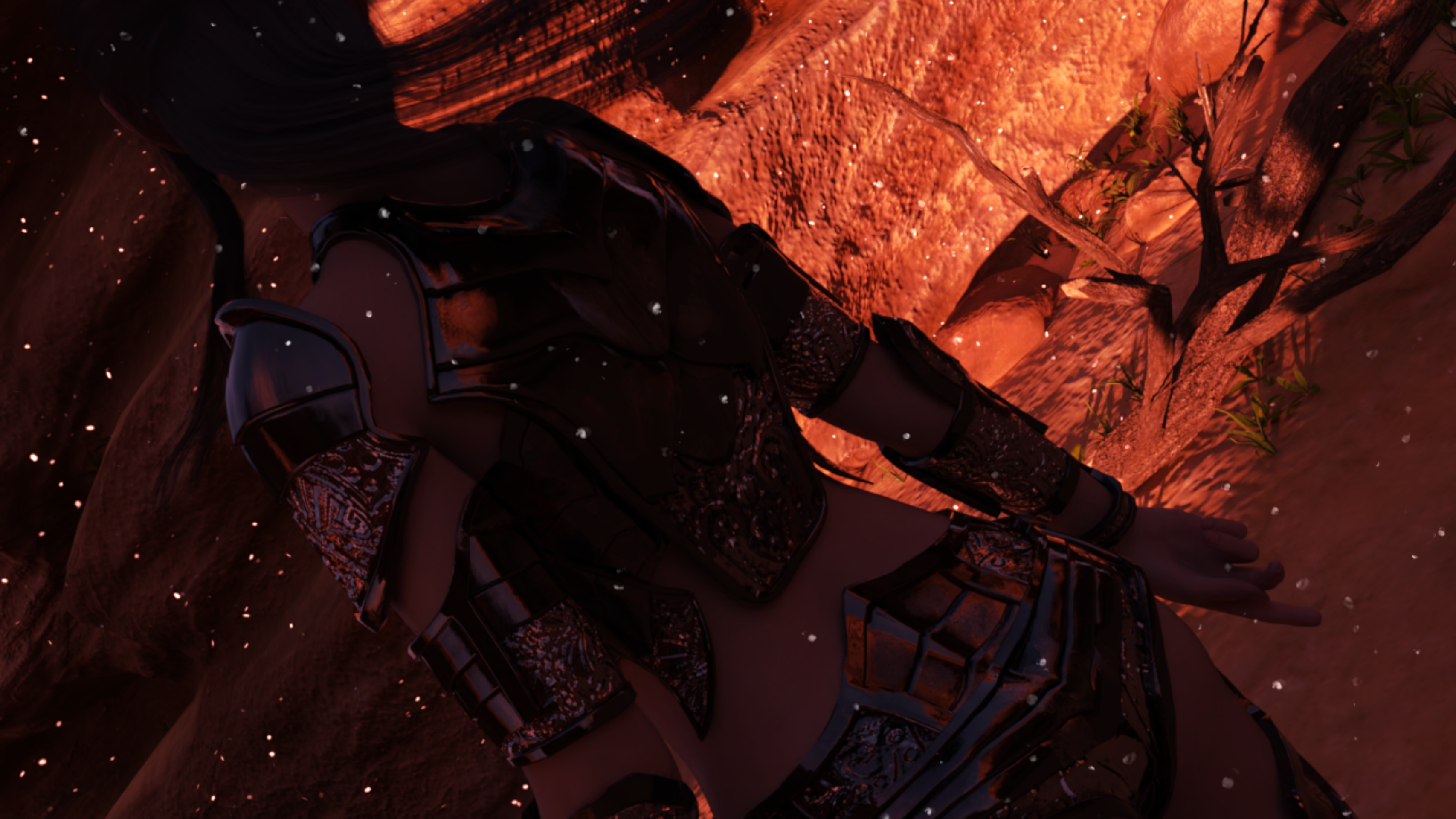
そして、悪党達は血の霧となった

—あなたは、巫女と呼ばれる者か？—

わけがわからない。女性が、賞金稼ぎではない事以外は…



領主の娘は、震えながら、自分は巫女ではないと、否定した
—そうか。だが、素質がある。問題ない—
絶えず、悪党達と同じように、霧散される恐怖が娘を襲う



—力をわける。1年で力を育てるがいい—
—この身は、呪われ縛られている—
—『望み』を禁じられ実行できない—



—いいか？ 1年だ。育てた力で、この身の望みを叶えろ—
娘はコクコクと頷いた。断るなどという発想はない。

—この身と同じ鎧を発見したとき、排除せよ。『中身』と共に—

A character with long, flowing blue hair is shown from the waist down, wearing intricate blue and silver armor. The armor features various plates and straps, with some parts having a metallic sheen. The character is standing on a dark, textured ground, possibly dirt or gravel. The background is a bright, hazy outdoor setting.

1年後

「いやっほ——————！！」



「あつたらしい装備~~~~あつたらしい装備い~~~~」



「かあああっこいい～～～もっと早く買えばよかった～～～」



「はっ！！ 浮かれてばかりではいけません！！」



「今くらいはいいかあ~~~~~ああ、かっこいい~~~自分素敵！ 超
かっこいい！ ひゃっはあああ~~~~~」



「よし、浮かれ終わった！ 『この装備は呪われているよ、注意しな』 っ
て、おじさんが言っていました……」



「たしかに、安かったです。このかっこよさで。信じられませんでした」



「呪いの内容は、えーと、『古代人の呪いぽいやつ』って…。『ぽい』って、なんですか、もう……」



「……ふっ、我こそは銀の戦士シアン！」



「あっと、つい、また。古代人の呪い（っぽい）って、何でしょう？」



「銀の戦士シアンの力を、持ってしても、呪いの内容が、解析できない、
う〜〜ん」



「これかあああ—————！？」



「呪いで運が悪くなって、火の球がふってきた？　そういうこと？」

「そんなわけ……」



「ないじゃない、銀の戦士シアンさん」



「あたしが、あんためがけて」



「火の魔法を仕掛けたのよ」



「運が悪いわねえ、そんな装備をつかまされて…」

(は……)



(恥ずかしい、聞かれてたっ！？ って、それどころじゃ、ひいい！)

「いろんな奴から、狙われているわよ」

プロローグ 完

一章





「!？」

(あ、あ、あ……………)



「ふーん」

(あぶな—————!!!!)



「早いね、あんた」

(ひっ、怖っ！ 雰囲気、こう、悪女っぽい！！)



「めったに、避けられないんだけど」

(いやあ、声をかけてくださったのでえ〜と、言う空気じゃない)



「誰！？ 悪女っぽい正体不明の人！」

「賞金稼ぎ。あたし達以外の奴等に、つかまるほうが、やっかいよ」

「あ、返事どうもです……」



(って、賞金？ ……とにかく…)



「ふっ…げほごほ、つ、次はこちらの番です、悪女っぽい人！」

「!？」



「くらいなさい、悪女っぽい人！！ はあああああああ！！！」

(魔法陣？ 一瞬で？)



(能天氣に、ピョンピョン飛び跳ねていたから、油断した)



(装備だけの娘だと判断したのが、甘かった！　どんな攻撃が…)



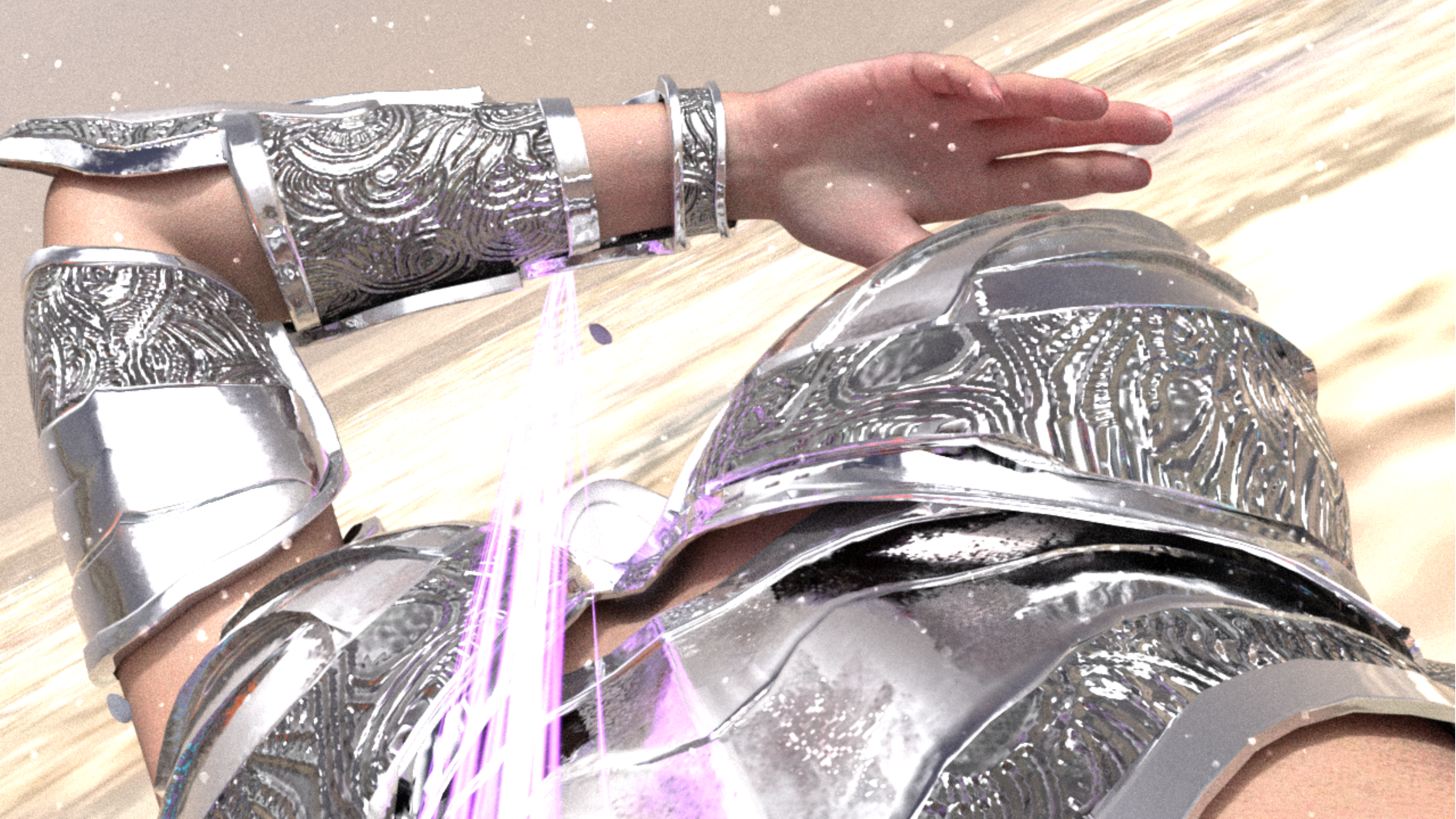
(.....違うわ、あいつ!!)



「あんな、逃げる気ね!？」
(ふっ、ばれた。ひいいい、急げ～～)



(はやく発動してえ！！ よし、迷いの霧が…)



(生成されたあああああーーーーー！！?)



「もう一度言うわ、他の奴等より、あたし達に、つかまった方がまし！」



「この攻撃があたっても気絶するだけ！ あんたのためよ！」



(えええええ、し、信じていいのでしょうか?)

「着ているもの、全部、剥いで、あんたを裸にして、放り出すだけだから！」

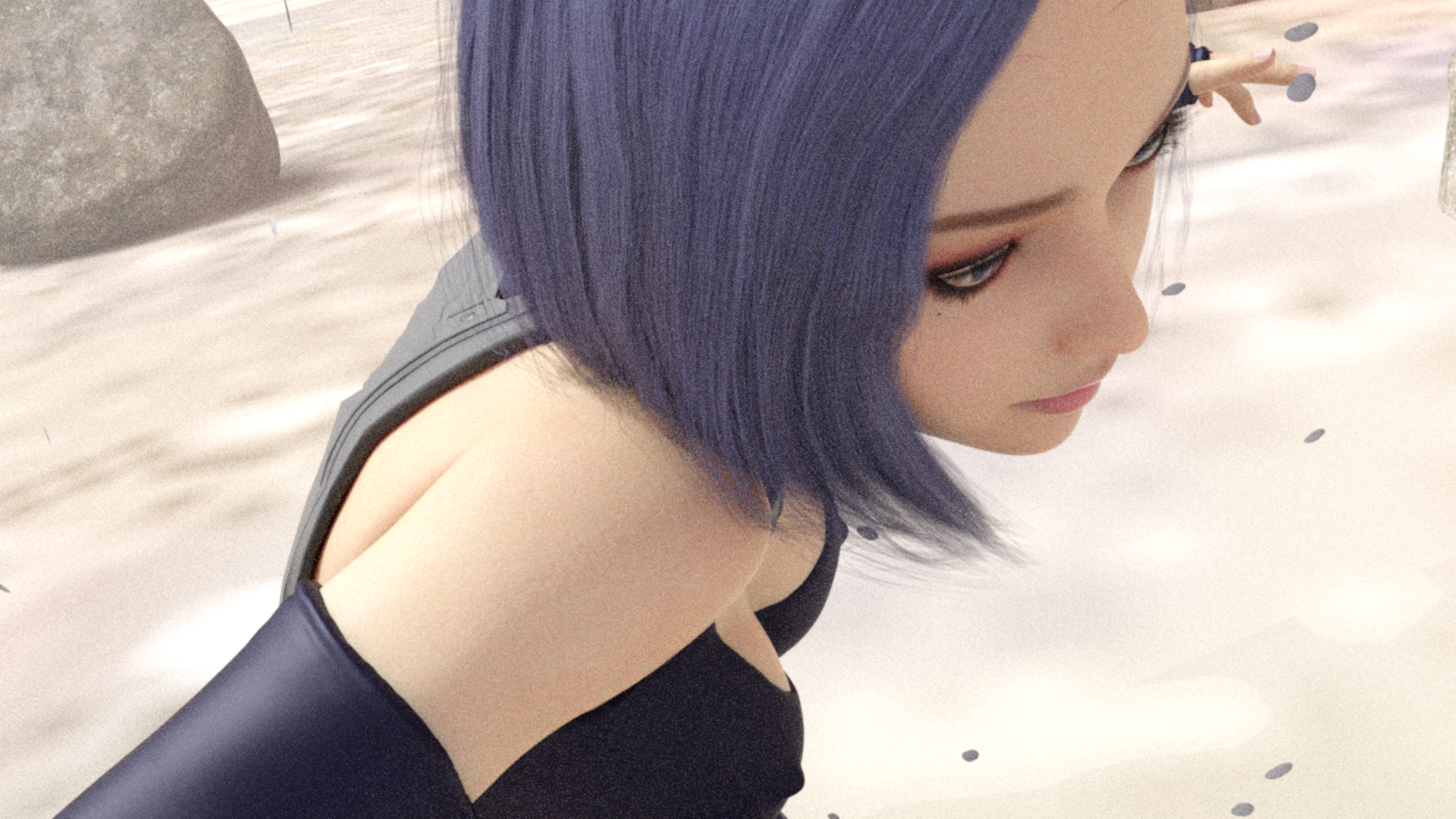


(追いはぎのカミングアウトをされても!?)

「転移魔法発動！」



「…っ…………消えた…………逃げられたか…………」



「…………まあ、嘘だけどね。放り出すの部分は…………」



(え”！？ どういうことでしょうか？ 裸で放置より、酷いことされる予定？)



(悪女っぽい人、許すまじ！ どうして해주세요)

「聞こえる？ 逃げられたわ……」



(いまは、見逃してあげるというか、普通に逃げますけど、ん?)

「!! ……誰よ、あんた。どうして、その魔具を使っているの!？」



(不穏な空気が……)

「盗賊団だろうと、あたしの方が…やめて！？ 仲間に手を出さないで！」



(うーんと、仲間が、盗賊団につかまった?)

「…正直に言うわ。あなた達が拘束しているお方は、領主様の娘……あたしは……付き人なの……」



「…その方に何かあれば、あたしは領主様に殺される…だから…」
(……ふむ……チャンス到来ですね。いろいろと)

一章 完



【製作サークル名】

ざこきゃら堂

https://www.dlsite.com/mani/ax/circle/profile/=maker_id/RG48158.html

2022年 春発売